

シングルマザーの就労支援の輪が広がってきた。名古屋市企業は専用の求人サイトを開設。無料の相談員が面接にも付き添い、入社に結びつけている。無担保で就労のためのお金を貸す団体も現れた。シングルマザーは所得の低さが課題になっているケースが多く、子どもの教育格差を生むとも指摘される。関係者は「母親が経済的に自立できるように背中を押ししたい」としている。

専用求人サイト、無担保融資…

でに約100社から求人情報が寄せられ、相談した母親約50人のうち、30人ほどが就職を決めた。登録すれば無料の相談員が希望に合った求人情報を紹介したり、応募の手続きもしてくれたりする。神朋代副代表は「離婚で自信をなくしていたり、長く働いていないか」と不安になったりして「子どものために頑張りたい」という母親と、人材不足の中小企業をつなげたい」と話す。

シングルマザー 就労に支援の輪

8万円で、子どもがいる世帯全体の707万円の半分程度にとどまる。生活に苦しむ人に無担保で少額を融資するバンク・オブ・グッド・ペイメントの日本版となる「グラミン日本」は、昨年9月から日本での活動を始めた。

シングルマザーも対象で、連帯責任を負う5人一組の互助グループをつくり、そのうち2人にまです。その返済状況を見ながら残り3人の融資を判断する。使い道は就労や起業の経費に限る。

菅正広理事長は「年収が低い家庭の子どもたちに教育資金が回らず、貧困が連鎖する社会構造がある。自己責任だと片付けるのではなく、社会の問題として取り組むべき時期だ」と訴える。

女性の相談に乗る「リンクリンク」の神朋代副代表(左)＝名古屋市